



3.11 Life Care Project

生活復興支援

Emergency House Life Media Community Care



活動の目的

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、かつて経験のない地震災害が発生しました。現地の状況が明らかになるにつれて、その被害の大きさ、問題の深刻さが露呈されています。災害直後は人命救助から被災者の生命維持活動が中心に行われています。しかし、その後は市民ボランティアによる生活再建のために様々な支援活動が必要になります。

そこで東海大学チャレンジセンター 3.11 生活復興支援プロジェクトでは、学生を中心として、様々な問題の解決に向けてできることを考え、総合大学ならではの多様なヒューマンネットワークを有する本学だからこそできるUSR（大学の社会的責任）に取り組み、実践活動を提案し行います。

また、本プロジェクトは従来の災害復旧支援のように「被災地の環境を元に戻す」というだけの活動ではなく、新たな発想で生活環境を考え、その活動を通じて「持続可能な開発のための復興支援とは何か」を目的とします。

活動実績 (2004年新潟県中越地震の際に建設した応急住宅)



丹沢・足柄まごころハウス
(本プロジェクトアドバイザー杉本洋文教授が参画)

活動実績 (地域活性化を目的として学生が建設したビーチハウス)

HIRATSUKA Beach House Project

7月から9月までの期間に学生が建設から解体までを行い、8月中はワークショップを中心としたイベントを開催。ビーチハウスを拠点とした「地域活性化」を目的とする。



2007年 はがされた砂浜



2008年 海へ続く階段



2009年 海の縁側



2010年 サンゴドーム

活動実績 (ビーチハウスでのワークショップ)



支援計画

第1期

～1ヵ月

緊急・援助期

命を守ること、助けることが最優先

避難所

衣・食・住の情報

間仕切り、避難所の掃除、ラジオ体操

第2期

～半年

復旧準備期

生存できる環境は確立

応急住宅

地域情報、安否確認、確実な情報の整理が必要

スポーツ大会やイベントの開催、ストレス発散の場所が必要

第3期

～3年

復旧期

最低限の生活環境が整う

仮設住宅

就職情報、住宅情報

メンタルケア、クラブ活動、教育...

第4期

～10年

復興期

生活水準を上げる

一般住宅の建設

メディアセンター

介護、看護、メンタルケア...

組織体制と活動内容

応急住宅

- ウッドブロックによる応急仮設建築物「どんぐりハウス」の提案と建設作業
- ソーラーパネルやバイオトイレを用いた自立型設備システムの採用

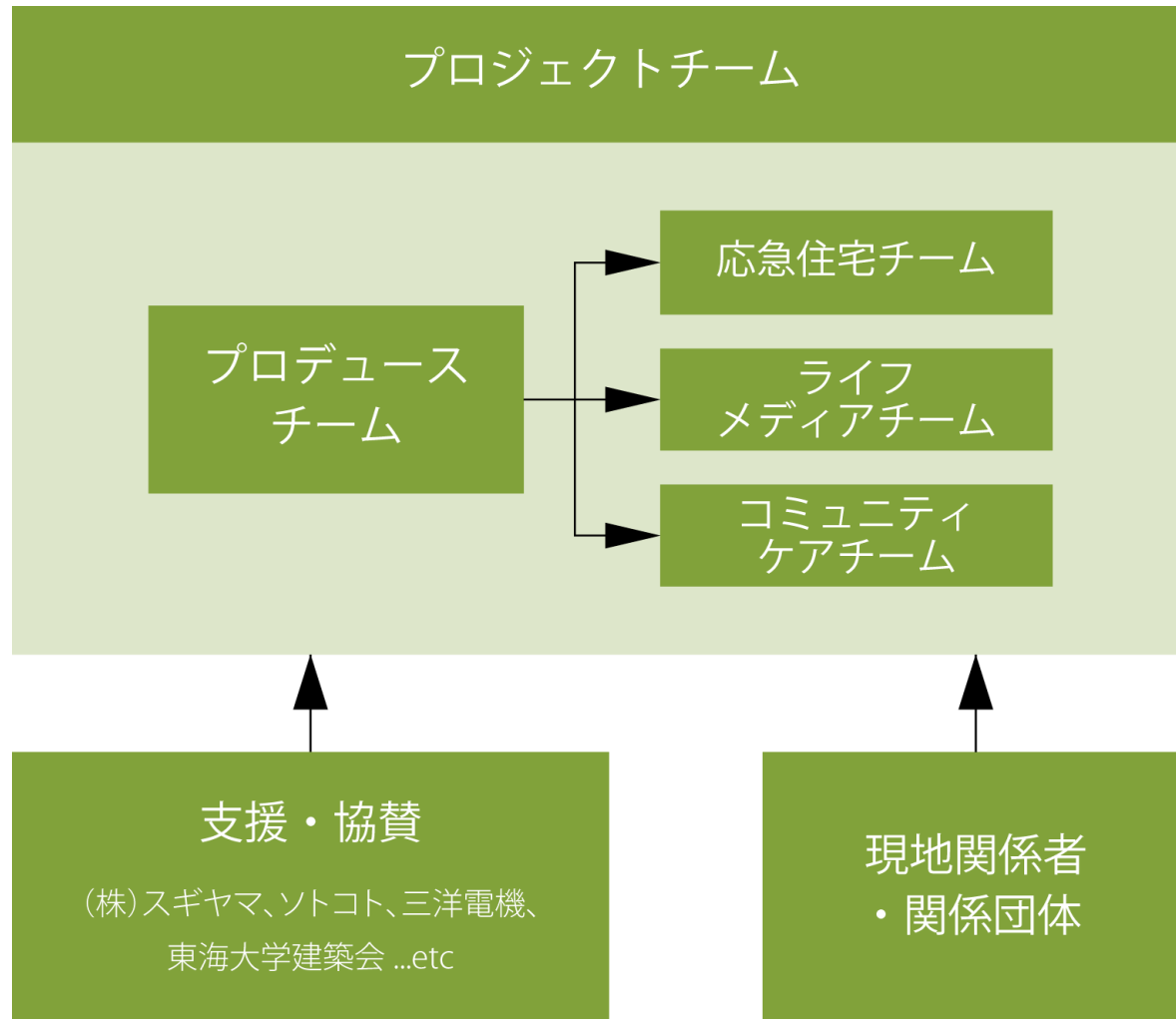
ライフメディア

- 被災地の復興の様子を子どもたちの目線で記録する、「こどもメディアセンター」を企画

コミュニティケア

- 被災地のニーズを最優先に、「集い」をテーマとしたイベント企画の実施
- 公民館・集会所として建設された「どんぐりハウス」を拠点としたイベント企画の実施
- 「どんぐり募金」の実施

組織図



年間スケジュール

3月

- 応急住宅の設計、支援に必要な物品のリストアップおよび確保、活動実施に伴う学内手続きなどを行う。

4月

- (上旬～中旬) 1棟目の敷地調査を行い、建設準備を進行。岐阜県の木材加工場にて、ウッドブロック製作を行う。
- (下旬～) 岩手県大船渡市にて1棟目どんぐりハウス「大船渡市泊地区公民館」を建設する。並行して2棟目の建設準備

5月

- (～上旬) GWを利用し、「大船渡市泊地区公民館」を建設する。並行して2棟目の建設準備 (岐阜県の木材加工場)
- (中旬～下旬) 「ロハスデザイン大賞2011」にて2棟目「どんぐりハウス」を建設、展示する。(解体後、移築)

年間スケジュール

6月

- 2棟目「どんぐりハウス」を宮城県石巻市に建設。並行して図面・建設ノウハウ公開のための建設マニュアルを作成する。
- 1棟目、2棟目「どんぐりハウス」を拠点としたイベントの企画立て。（ライフメディア、コミュニティケア）

7月

- 「こどもメディアセンター」企画実施準備
- イベント企画の実施準備（ライフメディア、コミュニティケアチーム）

8月

- 「大船渡市泊地区公民館」にて、「こどもメディアセンター」企画実施
- どんぐりハウスを拠点としたイベント企画の実施

※9月以降については、ニーズ調査および企画検討中

どんぐりハウス開発

ウッドブロックシステムの採用

東北の合板工場の被災によって合板パネルが手に入られなくなる。
間伐材を使った建築システムの模索と開発



岐阜での制作風景

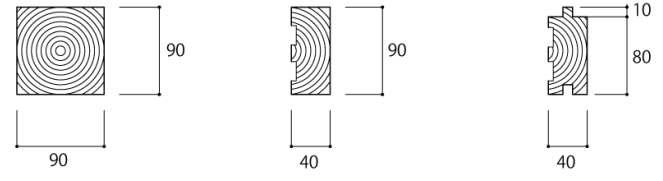
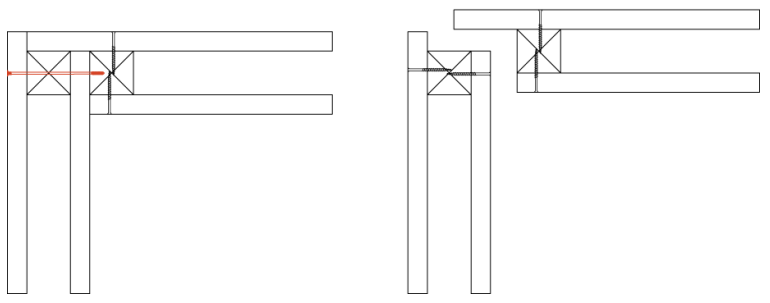
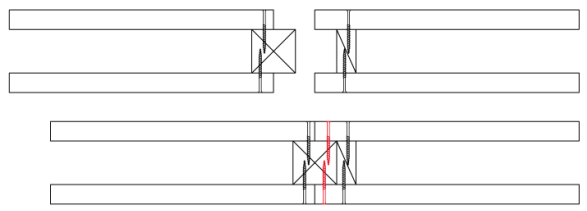
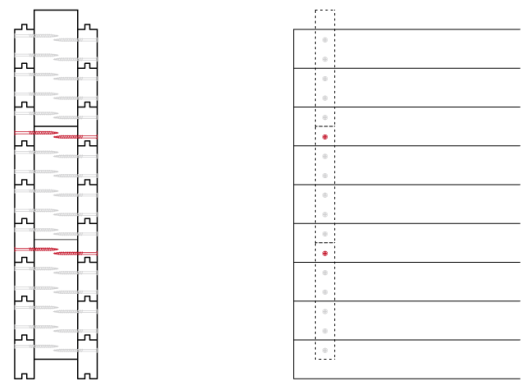


ビーチハウスの廃材でウッドブロックの試作モデルの開発を行う

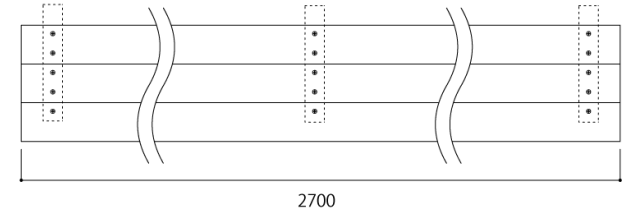
どんぐりハウス開発

杉や桧の間伐材とビスだけで構成する。

ビスによるユニットの接合



使用した木材寸法

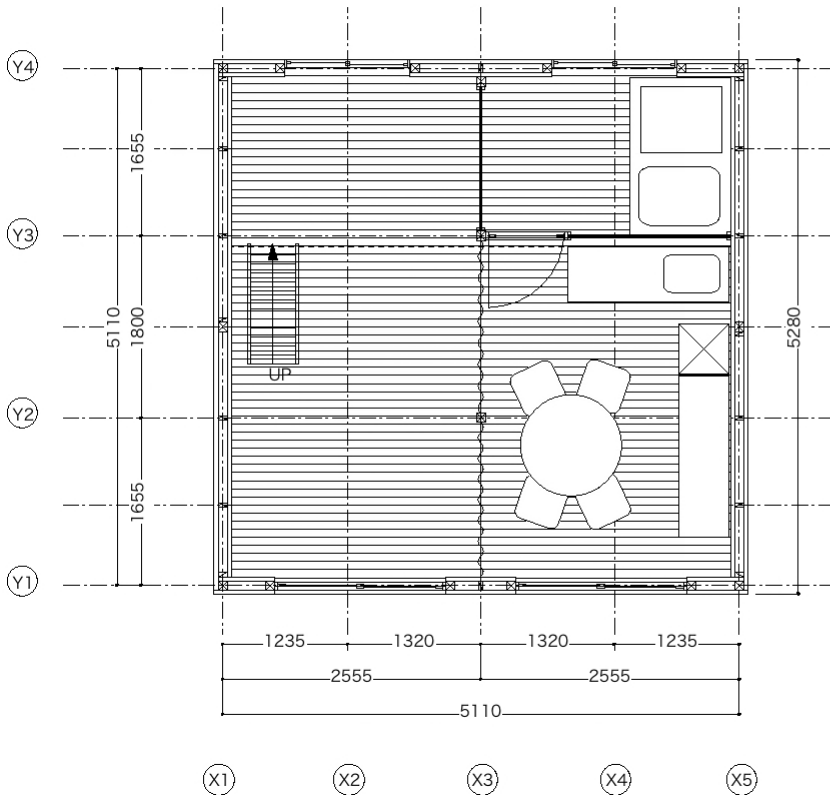


ヒノキの間伐材を使用することで環境面にも配慮している。

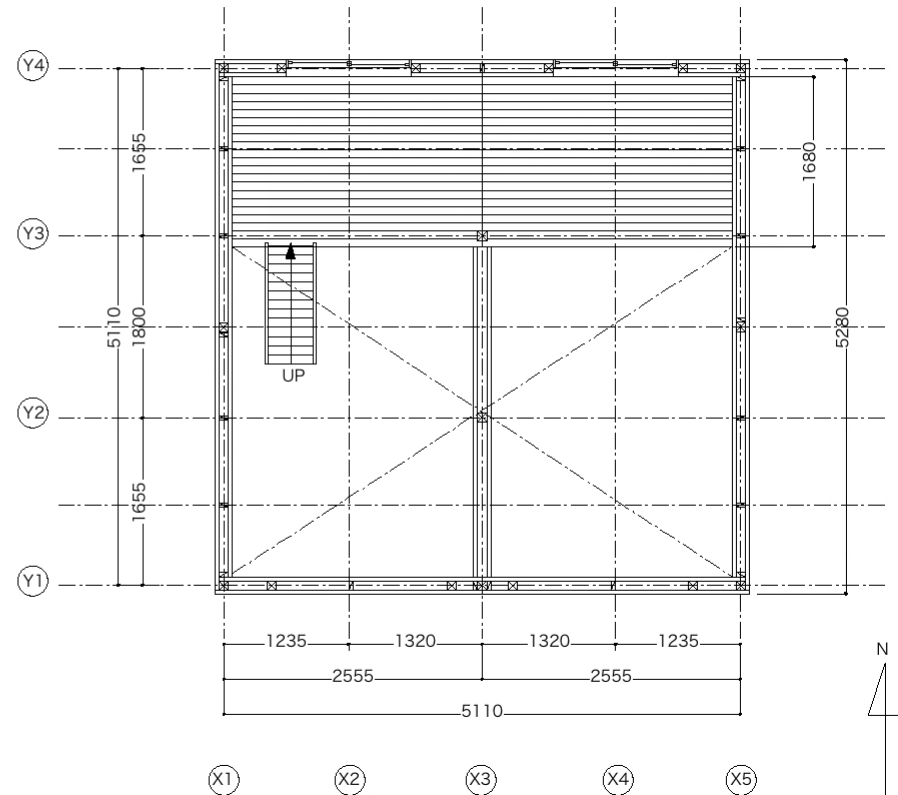
どんぐりハウス平面図

応急住宅プラン例

オープンプランのため、様々な用途に対応することができる。
建築面積は、応急仮設建築物の基準となる9坪



1階平面図

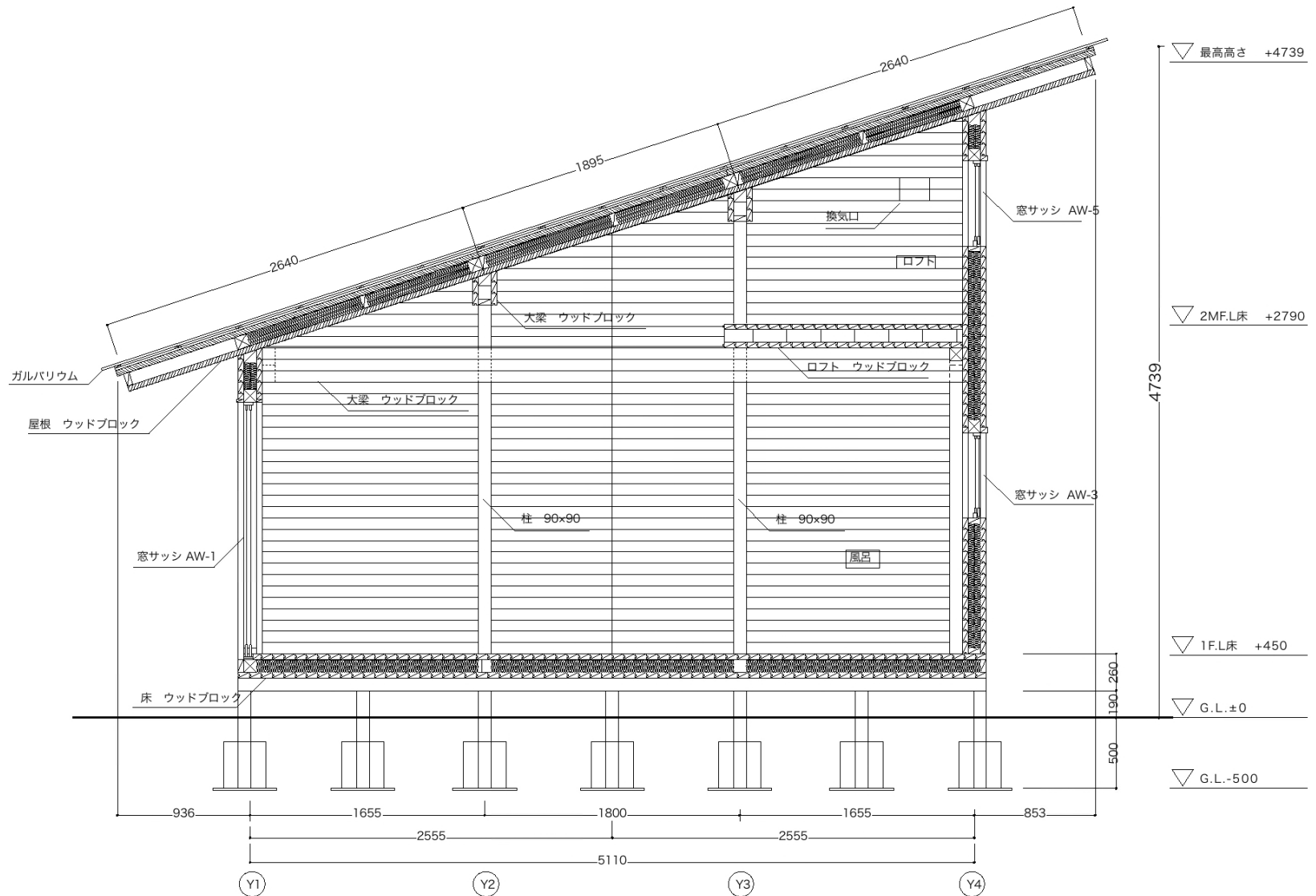


2階平面図



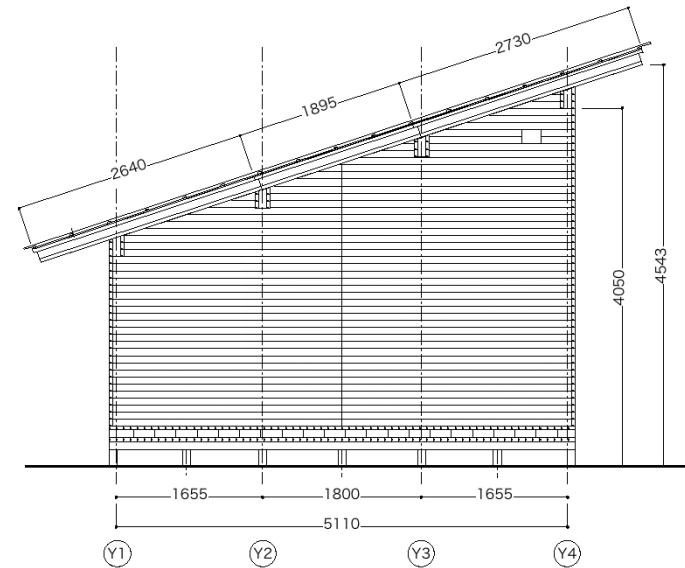
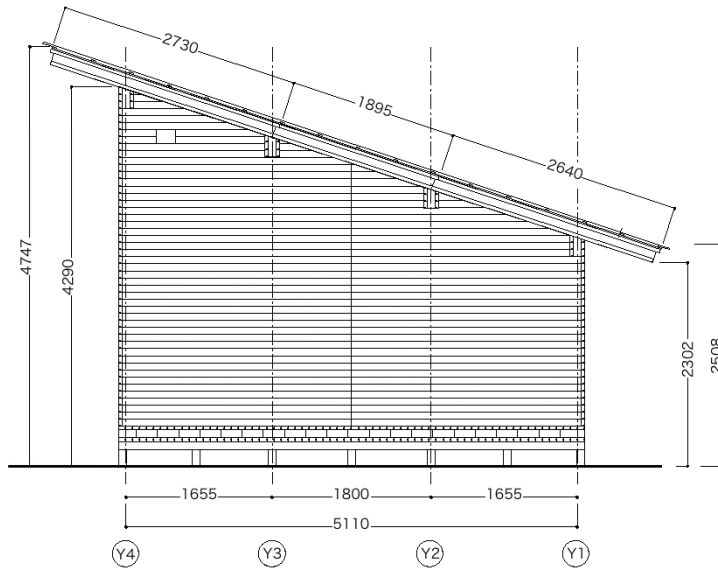
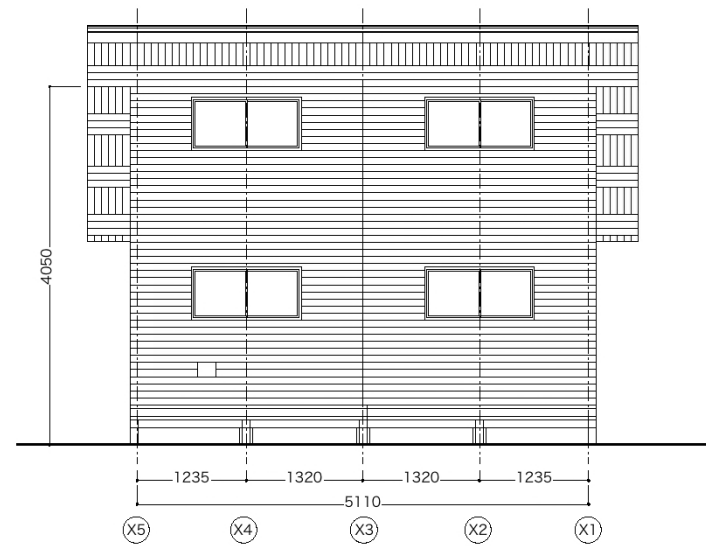
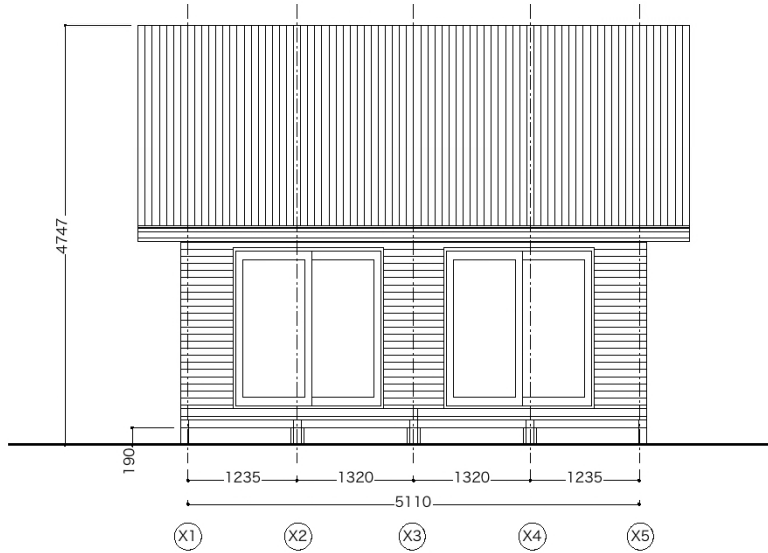
どんぐりハウス断面図

片流れ屋根で、ロフトを設置





どんぐりハウス立面図



どんぐりハウス内観イメージ



どろぐりハウス設備 自立型のエネルギーシステムを目指す。



屋根にソーラーパネル設置した応急住宅



バイオトイレ

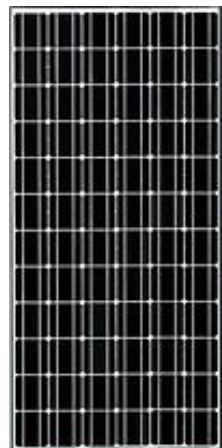


ソーラーパネル (200W~1.2kW)

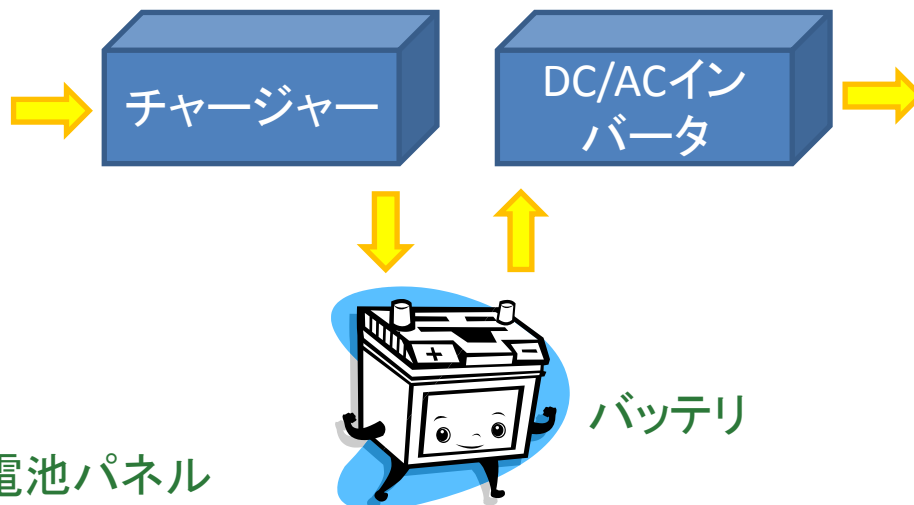
- 第1期(停電中) 一般住宅用パネルを利用しバッテリーによる自立型を構築
- 第2期(送電時) 商用電力と接続し電力供給
- 第3期(復興期) 一般建築物への移設



ソーラー応用技術で
高い実績の東海大



一般住宅用太陽電池パネル



携帯電話充電器
LED電球
インターネット接続パソコン
液晶テレビ
扇風機
など

どんぐりハウス タウンデザイン



どんぐりハウスは、
連棟型としても設計可能

どんぐりハウスによる
エコタウン



1 棟目どんぐりハウス

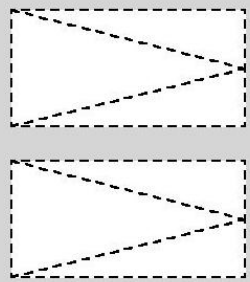
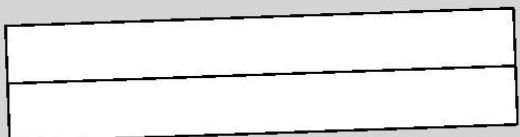
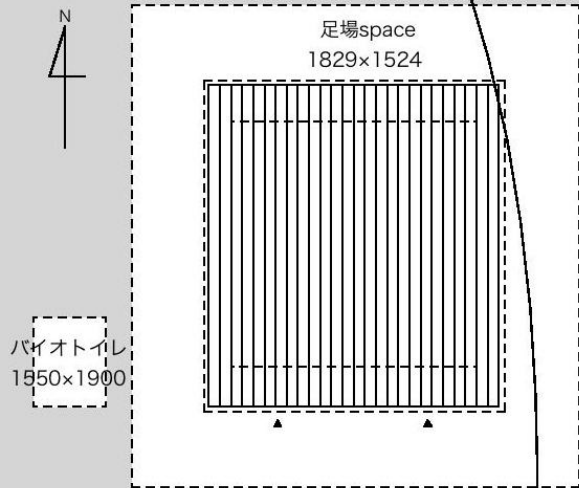
(岩手県大船渡市三陸町越喜来字井戸洞2-2)





泊地区公民館





道路

どんぐりハウス
配置図

岩手県大船渡市三陸町越喜来泊地区

公民館が流され、元牛舎の外が拠点。毎日自衛隊が支援物資を届けに来る。



元々の公民館が流され、屋外で会議を行う。



9 mの防潮堤を越え30 mの津波が襲う。

敷地調査





ウッドブロックの加工・組立 岐阜県揖斐川町

2011.04.01. - 04.17.

ウッドブロック加工組立

(岐阜県揖斐川町)



ウッドブロック加工組立

(岐阜県揖斐川町)



ウッドブロック加工組立

(岐阜県揖斐川町)





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

出発式





大船渡市泊地区公民館建設

2011.04.28. - 05.07.



3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





外觀



室内 LED照明が灯り、段ボール家具を設置。ロフトを望む



南側を見る バッテリーや電気設備が設置され、コンピューター台なども持ち込まれる。



ロフトから



泊地区公民館
環境庁ナレッジセンター

木造住宅交付
自己処理型トイレ
バイオミカレット 精製
MIKASA

引き渡し式





ロハスデザイン大賞2011

建設・展示 2011.05.16. - 05.23



3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

展示期間





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

展示期間

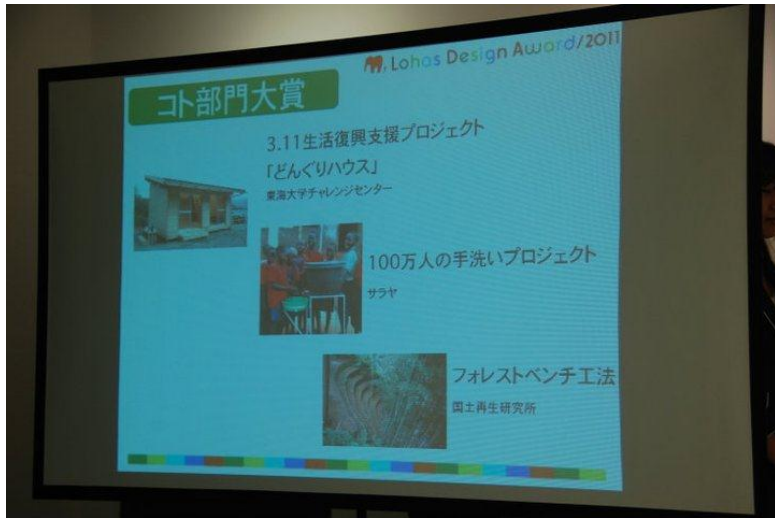


展示期間



LDA2011 発表・授与式 2011.06.06

ロハスデザイン大賞2011 コト部門 最優秀賞受賞



登米市にてウッドブロックを保管



ロハスデザイン大賞に出展後、どんぐりハウスは移築される。
建設場所が確定し作業が始まるまでの間、ウッドブロックなどの資材は登米町森林組合の協力を頂いて保管。





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care



UDセッション@泊 復興まちづくりシンポジウム





相川・小指地区集会所建設

2011.06.18. - 06.24.

建設地 (宮城県石巻市北上町十三浜字崎山53)



仮設住宅41戸
(相川運動公園)



相川・小指地区集会所



3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

敷地





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

資材搬入





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業





3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

建設作業

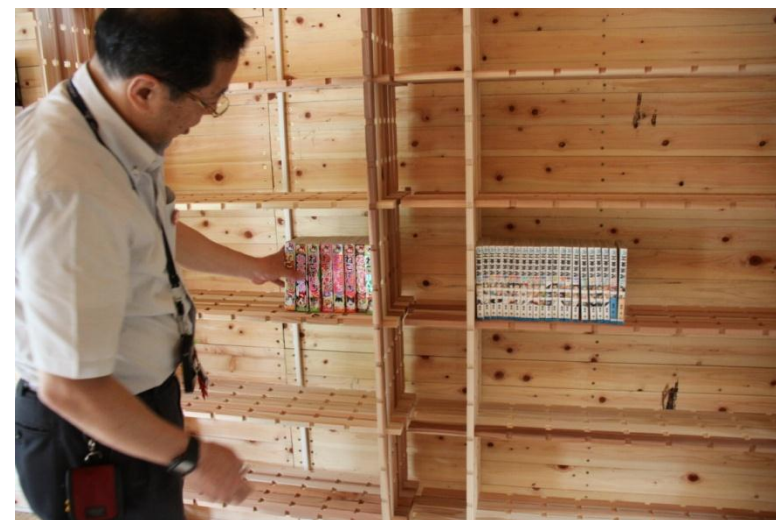




3.11 Life Care Project
生活復興支援
Emergency House Life Media Community Care

本棚作成

(株式会社サムライフアクトリーより本の寄贈)



組手仕による本棚作成



組手仕による本棚作成







相川・小指地区集会所 完成式



相川・小指地区集会所 懇親会





今後の活動